

筋疾患児・者支援のためのセミナー

本校に隣接する大阪刀根山医療センターより医師や理学療法士、看護師を講師としてお招きし、7月22日にセミナーを開催しました。当日は、筋ジストロフィー及び類縁筋疾患の児童生徒の教育に携わる21名の教職員の方に参加いただきました。

小児神経内科部長の齊藤先生より、「筋疾患について」をテーマにご講演いただきました。筋疾患に関する歴史的な背景、病型ごとの原因や病状、病状の段階ごとに必要となる配慮や支援、筋力低下が全身に及ぼす影響など専門的な内容を幅広く教えていただきました。



理学療法士長の尾谷先生より、「刀根山病院での筋ジス患者に対するリハビリについて」というテーマでご講演いただきました。リハビリの実施の有無による機能維持の違いや、筋疾患児・者にふさわしい運動量や負荷についてお話していただきました。

また、介助法の理論編では理学療法士の山本先生より、筋疾患者の拘縮と予防についてご講演いただきました。実践編では、参加者からの質問について、理学療法士の先生方に実践を交えながら答えていただきました。学校でできるストレッチや、支援者に負担のかかりにくい車いす移乗の方法、階段昇降の際の支援方法など、毎日の支援に活かすことができる介助方法についてご提案いただきました。



相談会では、少人数のグループに分かれて、日々の取り組みや困りごと等を共有していただきました。普段なかなか話す機会のない他校との情報交換や、異なる視点からの意見交換などが活発に行われ、とても充実した時間となりました。

